

2023 年度 名大入試実戦模試志望動向<前期>

2023/12/4

- 全体では、指数 107 のやや増加。文理別では、文系は 100 の前年度並、理系は指数 109 の増加。
- 文は指数 92 の減少。平均偏差値も 0.6 ポイントのダウンで易化傾向。
- 法は指数 105 のやや増加だが、平均偏差値は 0.6 ポイントのダウン。
- 経済は 2023 年度入試で志願者数大幅減少の反動で指数 105 のやや増加。平均偏差値は±0.0 と変化なし。
- 教育は 2023 年度入試で志願者数やや減少の反動はなく、指数 95 のやや減少。ただし、平均偏差値は 0.7 ポイントアップで易化傾向なし。
- 文理両方から志望できる情報は、文系の(人間・社会情報)は 2023 年度入試で志願者数が大幅増加した反動はなく、指数 98 の前年度並だが、平均偏差値が 1.4 ポイントの大幅アップで難化傾向。理系の(自然情報)も指数 193 の激増で難化傾向なので要注意。(コンピュータ科学)は 2023 年度入試で志願者数が大幅増加した反動で指数 92 の減少だが、平均偏差値が 0.4 ポイントのややアップで易化傾向なし。
- 理は指数 104 のやや増加だが、平均偏差値は 0.7 ポイントのダウンで難化傾向なし。
- 工は指数 110 の増加。学科別では、(エネルギー理工)は指数 132 の大幅増加で競争激化、ただし平均偏差値は 0.6 ポイントのダウン。(物理工)も指数 120 の大幅増加で競争激化、ただし平均偏差値は 1.9 ポイントの大幅ダウン。(電気電子情報工)も指数 116 の大幅増加だが、平均偏差値は 0.6 ポイントのダウン。(環境土木・建築)は指数 111 の増加で、平均偏差値も 0.5 ポイントアップで難化傾向。(化学生命工)も指数 110 の増加、しかし平均偏差値は 0.6 ポイントのダウン。(機械・航空宇宙工)は指数 104 のやや増加だが、平均偏差値は 0.6 ポイントのダウン。一方で、(マテリアル工)は指数 97 のやや減少で、平均偏差値も 1.2 ポイントの大幅ダウンで易化傾向。第 2 志望学科までの志願を認められるので、B 判定ラインを参考にうまい出願をしたい。
- 医(医)は 2023 年度入試で志願者が激増した反動は見られず、指数 110 の増加で、平均偏差値も 0.6 ポイントアップなので難化傾向。
- 医(保健)は 2023 年度入試で志願者数が 3 年連続減少した反動はなく指数 104 のやや増加。専攻別では、(保健／放射線技術科学)は指数 128 の大幅増加で、平均偏差値も 1.0 ポイントアップで難化傾向。一方で、(保健／看護学)は指数 97 のやや減少で、平均偏差値も 1.5 ポイントの大幅ダウンで易化傾向。他の 2 専攻は、(保健／検査技術科学)は指数 84 の大幅減少だが、平均偏差値は 1.2 ポイントの大幅アップ。(保健／理学療法学)も指数 89 の減少だが、平均偏差値は 2.8 ポイントの大幅アップでいずれも易化傾向なし。
- 農は系統への高い人気から指数 115 の大幅増加。学科別では、2023 年度入試での志願者増減が継続し(資源生物科学)は指数 160 の激増で、平均偏差値も 1.4 ポイントの大幅アップ、(生物環境科学)も指数 124 の大幅増加で、平均偏差値も 3.0 ポイントの大幅アップでいずれも難化傾向。一方で、(応用生命化学)は指数 97

のやや減少で、平均偏差値は 0.3 ポイントのややアップで前年度並。

2023年度 名大入試実戦模試 志望状況<前期>

大学	学部(学科)	志望者指数		平均偏差値差	
		2023年度 /2022年度	2022年度 /2021年度	2023年度- 2022年度	2022年度- 2021年度
名大	文	92	92	-0.6	-0.1
	法	105	85	-0.6	+0.4
	経済	105	96	±0.0	-1.2
	教育	95	89	+0.7	+1.0
	情報(人間・社会情報)	98	94	+1.4	-2.6
	情報(自然情報・コンピュータ)	109	87	±0.0	+0.5
	理	104	91	-0.7	+0.3
	工	110	96	-0.6	-0.2
	医(医)	110	107	+0.6	+0.0
	医(保健)	104	117	+0.5	-1.2
	農	115	102	+1.1	-1.5
	文系	100	92		
	理系	109	97		
合計	107	96			

